

個人を尊重した 人材育成で視野を広げる



コスモオイルインターナショナル株式会社 マネージャー

藤本 三奈子

● 女性も活躍する国シンガポール

コスモオイルインターナショナルは、シンガポールに拠点を置くコスモ石油の子会社です。本社の製品部と供給部が、ガソリンや灯油など石油製品の国内生産や輸出入について細かな計画を立て、私たちはそれにしたがって海外の石油会社やトレーダーといった取引先と具体的な売り買いの商談をします。

スタッフは、コスモ石油からの出向者と現地採用者を合わせた8名です。出向者3名のなかで女性は私だけですが、現地採用スタッフの内4名が女性です。シンガポールは働く女性が非常に多いです。また業種を問わず、同年代の女性駐在員の方も多く赴任されており、こちらに来てから社外とのつながりも随分広がったように思います。

● 人と情報が行き交うビジネス最前線

シンガポールは貿易におけるアジアの中心地で、非常に多くの人と情報が集中します。ですから人とのコミュニケーション、信頼関係の構築がとても大事です。そういう人間関係からさまざまな情報を得、時に私たちのビジネスにも大きく影響を与えることもあります。

しかも厳しい競争社会でもありますから、ただ座っているだけでは日本にいる時以上に情報は得られません。こちらから積極的に働きかける必要があるので、日々の人間関係が重要になります。日頃から常にアンテナを広げていなければなりません、情報はタダじゃないという意識も強いです。収集だけではなく、こちらからも情報提供をするというギブアンドテイクの関係です。



左から

◀ マーライオンパーク

◀ シンガポールのビル群

左から

デスクワーク ▶

オフィスでの打ち合わせ ▶





コスモ石油グループは、社員の力が事業活動の原動力と考えています。お客様とのコミュニケーション、社会に求められる製品・サービスを提供する担い手は、すべて一人ひとりの社員です。明るく働きやすい職場づくりを推進し、適性・能力にあった公正公平な評価はもちろんのこと、ワーク・ライフ・バランスに配慮した新しい働き方にも取り組んでいます。

● 社内外への情報発信源をめざして

私は入社以来、まわりから「ラッキーすぎる」と言われるくらい、仕事と上司に恵まれてきました。常に背中を押してもらいながら自分のしたい仕事を続けています。シンガポール勤務も私の希望でした。こちらでは社外の人と会う機会も日本より格段に増え、そのおかげで個人ではなく、会社の代表として接するのだ、という意識を強く持つようになりました。

将来的には、これまでの経験を活かし、会社全体の物流部門を大きく見られるような、視野の広い仕事をしたいと考えています。そのためにも今の環境を無駄にせず、もっと勉強と経験を積み、社内外への情報発信源になれば、と思います。



求められる人材

可能性を追求できる人材を育成

シンガポールには世界的にも有数な石油取引のマーケットがあり、多くの石油関係企業が拠点を構え、石油のトレーディングを行っています。藤本さんは豊富な専門知識と高いコミュニケーションスキルに加え人柄の良さで、相対する多くの石油トレーダーや関係企業と信頼関係を築き、活躍しています。

グローバルなビジネスにおいては、異国の習慣や文化、宗教などの価値観を理解し、誠実な行動で信頼関係を構築することが大切です。しっかりした自分の考えを持ち、環境やマーケット変化をタイムリーにキャッチし、ビジネスの可能性をとことん追求する人材が求められます。お互いの立場を理解し、Win-Winのビジネスを成立させるセンスを培うには、現場での経験がもっとも重要と考えます。



シンガポールの
オフィス

